



▲お母さんと楽しくゲーム

お母さんと幼児の体力向上とスキンシップを図ろうと、先月14日から6日間、「親子の体力づくり教室」が市民体育館で開かれました。今回の参加者は32組、65人で、ダンスやゲームで楽しく汗を流しました。

市連合青年会の主催で「第一回若者の広場」が先月二十日、広域交流センターで開かれました。参加者はダンスやカラオケ、講演などにそれぞれ楽しく親睦を深め合っていました。



▶「若者の広場」開かれる



▲心は早くも一年生
来春、小学校に入学する子供たち九百六十八人の健康診断が市内各地で行われました。十八日には上川沿小の二十二人が受診。元気に登校する日を夢見て、心は早くも一年生気分といったところでした。

フォト・ニュース



私たちの社会は、だれもが等しく参加できる、差別のないものでなければなりません。しかし現実はどうでしょう。全国に約三百五十万人以上いるといわれる心身に障害をもっている人たちにとって、決して恵まれた社会環境とはいえないかもしれません。では、私たちはいったい何をすべきでしょうか。一つは道路、建

物などを改良するといった社会環境の整備が挙げられます。しかしもっと重要で基本的なことがあります。それは相手が障害者であることを意識せずに、進んで障害者との交流を深め、人間的な触れ合いを大切にしていくということです。十二月九日は「障害者の日」です。もし、障害をもつ人が困っているのを見かけたら、相手が障害者だからお手伝いする「のではなく、困っている人がいたからお手伝いする」といった考え方に立って、みてください。障害者の問題は、私たちみんなの問題なのですから。

救急車の利用は もっと細心に

人間はだれでも緊張する瞬間があるはず。でも緊張の連続では体がまいってしまいます。救急車も同じことです。

57年の1年間に救急車が出動した回数は、大館圏域(大館市、比内町、田代町)で1,227回。1日平均4回出動し、1,228人を病院に運びました。この中には、交通事故や急病のため生死が分かれるような重症の人もいます。しかし、約半数は結果的に入院の必要がなかった軽症の方で、なかには救急車を呼ぶこともなかったという例もあり、72回も空もどりしています。

軽い気持ちで利用することが、救急車を本当に必要とする人を死に追いやっているかもしれません。救急車の利用には、もっと細心でありたいものです。



フォト・ニュース

12月18日(日)は衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査 の投票日

◆投票時間

午前7時～午後6時

◆投票できる方

年齢・12月18日で満20歳以上の方(昭和38年12月19日以前に出生)
転入・58年9月2日まで
に当市に転入の届出をした方。

◆不在者投票

投票日の当日、出張や旅行など、やむを得ない理由で不在になる方は、前もって不在者投票をすることができま

期間・12月3日

時間 午前8時30分
午後5時

(土曜日の午後、日曜日でもできます。)

場所 選挙管理委員会
事務室(市役所内)

持参するもの
印鑑、入場券

◆投票所の一部変更

〈御成投票区〉

大館ビル
大館商工会議所

〈商人留投票区〉

商人留精米所
商人留町内会館